

GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議（第2回）

会議議事録

1. 開催日時

2026 年（令和 8 年）6 月 11 日（木） 16:00～17:00

2. 開催場所

横浜市役所 31 階 レセプションルーム

3. 出席者

別紙出席者名簿

4. 次 第

- （1）TDM の目標等
- （2）「GREEN×EXPO 2027 TDM パートナー」登録制度
- （3）TDM トライアルの概要
- 【共有】今後の進め方

5. 配布資料

- ・出席者名簿
- ・席次表
- ・議事次第
- ・説明資料
- ・TDM パートナー募集チラシ
- ・リーフレット

6. 会議要旨

- ・平原会長からの挨拶
- ・事務局より、説明資料に基づき説明。
 - TDM（交通需要マネジメント）の目標等について
TDM の取組内容、重点実施範囲及び呼びかけ期間等について説明。
 - 「GREEN×EXPO 2027 TDM パートナー」登録制度について
TDM に協力する企業・団体を対象とした登録制度の開始及び登録企業への情報提供や取組事例の発信について説明。
 - TDM トライアルの概要について

2026 年 9 月に TDM トライアルを実施し、取組状況や交通状況等の検証を行うこと等を説明。

➤ (共有) 今後の進め方について

TDM トライアルの検証結果を踏まえ取組内容の充実を図るとともに、パートナー登録推進及び一般利用者への周知を進めることを説明。

- ・質疑応答及び委員、協力委員、副会長からのコメント
- ・中谷会長からの挨拶

7. 会議議事

(司会 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課 山崎担当課長)

定刻前ではございますが、皆様お揃いですので始めさせていただきます。

ただいまより、第 2 回 GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議を開催いたします。

本日はご多忙のところお集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日の進行を務めます、横浜市 GREEN×EXPO 推進課の山崎です。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、本日の資料の確認をいたします。議事次第、出席者名簿、席次表、説明資料、TDM パートナー募集チラシ、GREEN×EXPO のリーフレットの合計 6 種類を配布させていただいております。不足がございましたら、事務局がお届けに参りますので、お申し付けください。

次に、本日ご出席の皆様をご紹介します。会長の横浜市副市長、平原 敏英です。同じく会長の神奈川県副知事、中谷 知樹です。副会長の GREEN×EXPO 協会事務次長、小池 政則です。続いて委員の皆様をご紹介します。横浜商工会議所副会頭、原田 一之様です。神奈川県中小企業団体中央会会長、森 洋様の代理で、副会長兼専務理事、長谷川 幹男様です。続いて協力委員などの皆様をご紹介します。国土交通省都市局大臣官房技術審議官、服部 卓也様です。国土交通省関東地方整備局長、橋本 雅道様の代理で、道路部長、河村 英知様です。国土交通省関東運輸局長、藤田 礼子様です。経済産業省関東経済産業局長、岩田 泰様の代理で、産業部長、小澤 元樹様です。神奈川県警察本部交通部長、加藤 雅道様の代理で、交通規制課長、金丸 傑様です。相模原市副市長、石井 賢之様です。大和市副市長、前田 剛司様です。町田市副市長、堀 哲様です。一般社団法人神奈川県バス協会会長、野村 正人様です。一般社団法人神奈川県タクシー協会会長、伊藤 宏様の代理で、専務理事、三上 弘良様です。一般社団法人神奈川県トラック協会会長、吉田 修一様の代理で、専務理事、永島 和弘様です。相模鉄道株式会社代表取締役社長、千原 広司様の代理で、取締役営業部長兼経営統括部長、鈴木 昭彦様です。東急電鉄株式会社代表取締役専務執行役員鉄道事業本部長、伊藤 篤志様です。東日本旅客鉄道株式会社執行役員横浜支社長、矢野 精一様の代理で企画部長、関 啓充様です。中日本高速道路株式会社常務執行役員東京支社長、荒井 靖博様です。東日本高速道路株式会社常務執行役員関東支社長、松坂 敏博様の代理で、管理事業部長、上村 治様です。首都高速道路株式会社常務執行役員、菅原 聡様の代理で、保全・交通部道路情報・交通室長、須藤 肇様です。GREEN×EXPO 協会交通アドバイザー、神田 昌幸様です。神奈川県県土整備局技監兼都市部長、近藤 修宏様です。

なお、本日も報道関係者による取材が行われております。議事の様子や皆様の発言、ご討議の内容が報道される可能性がございますので、あらかじめご了承ください。

はじめに平原会長からご挨拶をお願いいたします。

(平原会長)

改めまして、皆さんこんにちは。会長を務めます横浜市副市長の平原でございます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

第2回 GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、皆様には日頃から横浜グリーンエキスポの盛り上げに大きなご協力をいただいていることにこの場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。

本日をもちまして開幕まではあと281日となりました。先日、開幕まで300日を切ったと思っておりましたが、あっという間にこの日数が減っていくことを実感しております。現場では、基盤整備がいよいよ終盤を迎え、出展者の皆様による工事も始まっております。実際に現場を見ましても、佳境を迎えているということが見て取れる状況でございます。また、3月からはチケット販売も開始され、だんだん機運の高まりを感じているところでございます。

この横浜グリーンエキスポでございますが、国内外から多くの方々にお越しいただいて、新しいグリーン社会をアピールする、そういう場にしていきたいと思っております。そのためにも、会場の特徴から言いましても、交通の円滑化は大きな課題だと、我々も改めて考えているところでございます。

昨年12月にこの会議の第1回を開催させていただきました。本会議の設置のご承認をいただいたことで、皆様と一緒に検討を進めていくということで体制がスタートしたところでございます。

前回の会議では、来場者輸送と一般交通の交錯による影響が懸念される中で、交通需要の分散・平準化の重要性について認識を共有いたしました。また、皆様からは地元や企業への丁寧な説明、関係機関等の連携強化の必要性などについてもご指摘をいただいたところでございます。その後、実務者による幹事会も複数回開催させていただき、具体的な検討が進められているところでございます。本日は、これまで幹事会で検討し取りまとめた「TDMの進め方」についてご確認をいただく予定です。皆様からぜひ、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

またこのTDMの推進につきましては広く皆様に呼びかけていくことが重要と考えておりますので、引き続き皆様方と連携しながら、適切な情報発信にも努めていきたいと考えているところでございます。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

(司会 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局 GREEN×EXPO推進課 山崎担当課長)

ありがとうございました。それでは議事に入まいります。本日の議長は設置要綱に基づき、平原会長をお願いいたします。

(平原会長)

それでは改めて議長を務めさせていただきます。

皆様におかれましては、円滑な議事進行にぜひご協力をいただきたいと思います。本日は、次第にお示ししておりますとおり、3つの議題を予定しております。

議事次第に基づき、まずは事務局から説明をお願いいたします。

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進部 西岡担当部長)

横浜市 GREEN×EXPO 推進部担当部長の西岡です。資料をご説明させていただきます。1ページをご覧ください。本日の説明内容です。はじめに、これまでの検討状況についてご報告いたします。続いて議題に移ります。

1つ目の議題として、TDM の目標等についてご説明いたします。2つ目の議題として、GREEN×EXPO 2027 TDM パートナー登録制度についてご説明いたします。3つ目の議題として、TDM トライアルの概要についてご説明いたします。最後に共有事項として、今後の進め方まで通してご説明させていただきます。

3ページをご覧ください。これまでの検討状況をご報告させていただきます。

4ページをご覧ください。昨年12月に第1回 GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議を開催し、会議の設置を決定するとともに、TDM の必要性や今後の進め方についてご説明いたしました。その後、今年の1月から6月にかけて幹事会を3回開催し、道路や鉄道の利用状況を整理するとともに、目標や取組内容、呼びかけの対象範囲、取組時期などについて議論を重ねてまいりました。

本日は、これまでの幹事会において整理してきた内容についてご説明いたします。

(1) TDM の目標等

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進部 西岡担当部長)

5ページをご覧ください。まず1つ目の議題として、TDM の目標等をご説明いたします。

6ページをご覧ください。開催期間中の道路の交通状況についてご説明いたします。棒グラフの白色部分が一般交通量でございいます。水色部分が来場者交通量を示しています。開催期間中は、周辺道路において現況を上回る交通量となることが予測されております。特に、環状4号線及び八王子街道では、来場者交通の影響を大きく受けることが想定されています。

7ページをご覧ください。次に開催期間中の鉄道駅の交通状況についてご説明します。

左側の図は、2段書き上段黒字で駅の現況利用者数を、下段赤字で会期中の繁忙期における各駅の利用者数を示しています。横浜駅では1日あたり約98万人、新横浜駅では1日あたり約18万人の利用者がおり、繁忙期には横浜駅では片道7,500人、新横浜駅では6,400人の来場者が乗換利用する想定となっております。

右側のグラフは、両駅における時間帯別の改札通過人数と来場者の乗換人数を示しています。日常的な利用者が多い両駅では、来場者の乗換利用が加わることで、乗換動線が錯綜する可能性があります。8ページをご覧ください。ご説明した交通状況を踏まえ、道路や鉄道における一般

交通の低減及び平準化が必要であることから、TDM の取組を進めるにあたり、目標を設定しました左側をご覧ください。道路の目標として、主要ルートとなる八王子街道や環状 4 号線の道路混雑により、日常交通への影響が懸念されることから、会場周辺の混雑を現況より増大させないことを目標としています。また、来場者交通の集中が想定されることから、一般交通の分散・平準化を図る範囲として、最重点範囲に赤点線のエリアを設定しました。目標の達成状況につきましては、平均旅行速度を指標として確認・検証することとしています。

次に右側をご覧ください。鉄道における目標としては、乗換駅である横浜駅、新横浜駅などにおける乗換動線が錯綜し、利便性や安全性が損なわれる可能性があることから、駅における乗換利便性を低下させないことを目標としています。目標達成状況については、両駅における通路の混雑度および乗換所要時間を指標として確認・検証することとしています。

9 ページをご覧ください。目標を達成するため、TDM において協力を呼びかける取組内容についてご説明します。まず①として、移動量や配送量を削減するため、テレワークの実施や荷物の発送頻度の低減、配送の集約などを設定しています。次に、②として、混雑する時期、時間帯を回避するため、時差出勤の実施や混雑時間帯を避けた移動を挙げています。③として、混雑する場所やルートを回避するため、会場周辺道路を避けたルート選択や、鉄道、バス、自転車、徒歩等への交通手段の変更などを取組内容としています。さらに④としまして、交通阻害の低減に向け、路上駐車、路上停車の抑制の取組も設定しています。

これらの全ての取組にご協力いただくことを求めるものではなく、個人や企業の活動の中で可能な範囲で取組を実施していただきたいと考えております。

10 ページをご覧ください。TDM を重点的に呼びかける範囲についてご説明いたします。道路につきましては、会場周辺道路を通行する車両の出発・到着が多い地域として、地図に着色した地域の企業等に対し、重点的に TDM への協力を呼びかけることとしています。また、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスといった広域交通を担う道路の利用者に対しては、道路上での周知など、より広い範囲での呼びかけについて、今後検討を進めてまいります。

11 ページをご覧ください。鉄道につきましては、横浜駅、新横浜駅を利用する通勤利用者の勤務地が多く立地する両駅周辺エリアにおいて、企業等に対し重点的に TDM への協力を呼びかけることとしています。また、来場者の利用が見込まれる会場近傍 4 駅のアクセス路線の駅や、車両広告を活用した周知、さらにより広い範囲への呼びかけについても今後検討していきます。

12 ページをご覧ください。呼びかけ期間及び設定についてご説明いたします。

横浜グリーンエキスポの会期は 192 日間となっており、全期間にわたり TDM の実施が望ましいものの、会場周辺道路の状況や来場者数を踏まえて、特に TDM のご協力を呼びかける期間を、ゴールデンウィーク、お盆、会期終盤の 9 月と設定しています。

また、閉幕まで残り 2 週間となる 9 月後半につきましては、さらに強く協力を呼びかける期間としています。なお、呼びかける期間や強さについては、今後の来場者の予約状況に応じて柔軟に対応していく考えです。

(2)「GREEN×EXPO 2027 TDM パートナー」登録制度

13 ページをご覧ください。続いて、GREEN×EXPO 2027 TDM パートナー登録制度についてご説明します。

14 ページをご覧ください。TDM にご協力いただける企業や団体を GREEN×EXPO 2027 TDM パートナーとして登録する制度を、明日 2026 年 6 月 12 日から開始し、TDM の取組を促進していきたいと思っております。登録条件は、「GREEN×EXPO 2027 開催期間中に、交通混雑の緩和につながる取組にご賛同いただける企業・団体」とし、登録期間は明日、6 月 12 日から会期末の 2027 年 9 月 26 日までとしています。

登録開始にあわせて専用ホームページを開設し、そちらから登録いただく形となります。登録のメリットとしては、登録者に対してメールで交通混雑予測情報を配信すること、企業名をホームページで公表することで企業イメージの向上に寄与すること、さらに SDGs の実現に貢献できることなどが挙げられます。また、これらに加えて、登録いただいた企業や団体へのインセンティブについては引き続き検討していきます。

登録制度の開始に合わせて、お手元にお配りしているチラシの配布により、TDM およびパートナー制度の周知を図ります。なお、チラシに記載の QR コードおよび URL は、2026 年 6 月 12 日の午前 0 時よりアクセス可能となります。あわせて、経済団体や企業団体が保有する媒体等も活用し、広く TDM パートナー登録制度の周知を進めていきたいと考えております。

15 ページをご覧ください。TDM パートナー登録制度の開始に先立ち、GREEN×EXPO 2027 における TDM について、すでに取組をご検討いただいている企業の事例をご紹介します。

ヤマト運輸株式会社様、相鉄ホールディングス株式会社様、株式会社三和様、いすゞ自動車株式会社様の 4 社におかれましては、会場周辺道路や横浜駅の利用について、分散・平準化の観点からご検討いただいております。次のページからそれぞれの検討状況を紹介する資料を掲載させていただきます。こうした事例を紹介することで、様々な企業団体の皆様が TDM に取り組むきっかけになるものと考えております。

今後もパートナー登録をしていただいた企業・団体の取組につきましては、専用ホームページで順次ご紹介していきたいと考えております。各社の紹介資料につきましては、後ほどご覧ください。

(3) TDM トライアルの概要

20 ページをご覧ください。次に議題 3 として、TDM トライアルの概要をご説明いたします。

21 ページをご覧ください。非常に多くの来場が予測される会期終盤の 1 年前にあたる今年 9 月に、TDM トライアルを実施します。実際に TDM を実施し、取組状況や課題等を検証するとともに、トライアルの周知を通じて、多くの方に GREEN×EXPO 2027 における TDM を認知していただく機会としたいと考えております。

トライアルの対象者は、TDM パートナー企業に加え、国、神奈川県、横浜市、GREEN×EXPO 協会としますが、道路上や駅等において TDM の周知を行い、幅広い方々の参加も促していきたいと考えております。

取組内容としては、道路において外周道路を含む最重点範囲の迂回、または混雑する時間帯、

方向を避けた通行等を実施することとしています。

また、鉄道においては、横浜駅及び新横浜駅のピーク時間帯を避ける取組としています。トライアル期間は、本年9月7日から13日までの1週間とし、終了後にはTDMの認知状況や取組状況、交通状況等を把握し、検証します。

(4) 今後の進め方

22ページをご覧ください。議題は以上になりますが、最後に共有事項として今後の進め方を説明します。

23ページをご覧ください。先ほどご説明したとおり、9月にTDMトライアルを実施し、その効果検証を通じて取組内容の深度化を図ってまいります。

また、GREEN×EXPO 2027 TDM パートナー登録を促す周知・広報を行うとともに、開幕100日前を目途に、一般利用者や住民の皆様への働きかけを開始する予定でございます。

説明は以上です。

(平原会長)

ありがとうございました。事務局からの説明が終わりましたので、ご意見のある方は挙手をお願いできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(長谷川氏) (森委員代理)

神奈川県中小企業団体中央会の長谷川でございます。

このTDMにおいて、会場周辺の混雑緩和に加えて中小企業を中心とした企業の通常の活動も継続していく必要がございます。また企業への影響もできる限り抑えていく必要があると考えております。

そうした意味では、このパートナー登録制度は情報提供いただく上で非常に大事なポイントであると感じております。明日から登録が始まるということで、早期の情報提供は非常に大事だと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

その中で一点確認でございます。チラシの裏面左上に会場周辺の道路の混雑予測が記載されておりますけれども、本日ご説明いただいたグラフ等の情報を提供していただくと、より実感がわき、ある意味ではそれぞれの企業の対策が取りやすくなると感じてございます。ぜひ登録いただいた際には、あらかじめこういった情報を予測するということも周知いただくと大変ありがたいと存じます。

また周知につきましては、私どもとしましても最大限協力させていただければと思います。よろしくお願いいたします。以上です。

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局 GREEN×EXPO推進部 西岡担当部長)

今のご質問の中で、グラフ等と一緒に提示した方がよいのではないかというご意見につきまして、今後検討してまいります。また、本日の資料につきましては迅速に公開し、ご覧いただける

ようにいたします。

また企業の皆様におかれまして、詳しいお話をお聞きになりたい等のご要望がございましたら対応してまいります。また、TDM パートナーにご登録していただきますと、混雑予測等の情報をこちらから随時配信していきたいと考えております。ぜひ TDM パートナー登録をお願いしたいと思っております。

(原田委員)

ご説明ありがとうございます。

開幕までいよいよ 280 日ということで、開催が差し迫ってきたことを実感しております。ほかの場でも、TDM についてお話しさせていただいたことがありました。12 ページに記載がある呼びかけ期間についてですが、ゴールデンウィーク、お盆、会期終盤などが設定されています。ある意味、TDM の目的は、ピークを越えて従来の交通に影響が出るような時は、適切に交通をコントロールしていくという考えだと思います。以前もお話ししましたが、TDM は、毎日リモートワークを実施しなければならない、また毎日交通規制を行わなければならないということではなく、そのピーク時をどうやってコントロールするかということだと思います。その点をしっかりと説明をしていただきたいということは以前にもお話をさせていただきましたが、「こういう時期にご協力をお願いします」という言い方がよろしいと思います。

もう一点、確かにゴールデンウィークや会期終盤は分かるのですが、土日については今回あまり触れられていないのですが、土日に来場者が集中するのは間違いないと思います。毎週末の来場者は見込まれるだろうと思います。土日の場合は物流関係の車両は比較的に少ないのかもしれませんが、それでも一定数はあると思いますし、通勤する方もいらっしゃいます。土日における対応について、ご意見・説明があればお願いしたいです。

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進部 西岡担当部長)

おっしゃる通り、ピークをコントロールすることが大事であり、それに向けてピークが発生する日は予測できますので、そこを重点的に取り組んでいきたいと思っております。

また土日につきましては、この 12 ページのカレンダーをご覧くださいますと、黄色やピンクの日が多くなっております。黄色で約 8 万人のお客様、ピンクでいうと約 10 万 5000 人ということで、多くの方が来ることが予測されます。土日の対応につきましては、今後検討していく形になるかと思いますが、まずは TDM パートナーへの登録を進めていただき、情報をしっかりと発信していきたいと考えております。

今後、例えばチケットの販売が進められていくと、チケットの予約状況も把握できるようになるかと思います。そうすると、道路のある程度の予測が分かってきて、チケットの販売状況と来場者の自動車利用状況などが把握できた段階で、こちらから適宜情報を発信し、それを参考にしてもらい形で回避してもらい等をやっていきたいと考えております。現時点ではこのような期間を設定しておりますが、さらに混雑が見込まれる状況となった場合があれば、臨機応変に対応していきたいと考えております。

(原田委員)

また、TDM パートナーに登録すると、この時期が非常に混みそうだという情報をそれぞれの企業に随時送ってくださるということ。それに合わせて、各企業が少しコントロールしようかと自主的に考えながら対応していく。そのようなイメージでよろしいでしょうか。

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進部 西岡担当部長)

その通りでございます。

(平原会長)

よろしいでしょうか。来場日時・シャトルバス及び駐車場については、チケットによる事前予約制を行うため、その情報についてはリアルタイムで現場等において集約を行っていきます。そして、集約した情報を基に、広く発信を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

(堀委員)

この TDM パートナー登録制度の周知について、今後どのように進めていくのかお伺いしたいと思います。と申しますのも、東京都内では町田市が唯一の影響範囲でございまして、都内の企業の皆様にどの程度認識されているのかを心配しております。町田市も影響範囲だということが情報として届くのかということを懸念しておりますので、そのあたりのお考えをお聞かせいただければと思います。

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進部 西岡担当部長)

ご質問ありがとうございます。周知の方法につきましては、まださまざまな手法を検討している段階でございます。まずは商工会議所等を通じて、広く周知していく形を考えております。

また、東京都内につきましては、経済産業省にもお声かけさせていただき、どのような形で周知できるかを検討している段階でございます。周知方法を含めて、模索しながら進めていきたいと考えています。また、周知することで多くの企業にご登録していただきたいと思っております。

周知の進め方も含め、町田市様にもご相談させていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(堀委員)

そうすると、広報としては東京商工会議所にもご協力いただく方向で検討されているということでしょうか。

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進部 西岡担当部長)

広報の進め方につきましては、現在検討しているところです。

(小池副会長)

今回、具体的に協力いただく企業として、ヤマト運輸様など、様々な意見が出ていましたが、こうした協力企業の皆様にどのように情報を届けて協力をいただく形にしていくかが重要と考えております。このパンフレットには、TDM パートナー登録のメリットとして、交通の把握が可能、企業イメージの向上、SDGs への貢献などがありますが、我々協会があと 280 日の中で感じておりますのが、国際博覧会にぜひとも協力したいという企業の皆さんが増えてきているということです。

そのため、博覧会を皆で盛り上げて成功させるために、商工会議所をはじめとする関係団体とも連携しながら、協会の方でアプローチし、情報提供も含めて幅広くエキスポの準備状況も含めて、ご協力いただく意義というのを幅広く発信していきたいと考えております。

横浜市、神奈川県と連携しながら協会も取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

(永島氏) (吉田委員代理)

トラック輸送に関しましては、このエリア内を通行する車両は神奈川県内の事業者だけではなく、北海道から九州・沖縄まで、全国の事業者の車両が実際に通行していると思います。そのため、例えば関東近県も含めてトラック協会としてもご協力していきたいと考えています。また、私どもの団体で全日本トラック協会という組織がございますので、ある程度内容が固まった段階でお声かけいただければ、全国へ情報展開をすることができますので、よろしくお願いいたします。

もう一点。この TDM パートナーに登録していただいた方へは情報提供を行います。それ以外の登録をしてない方たちに対しても、他県の運送事業者等が登録してくれるかという、なかなか難しいところがありますので、一般の方を含め、広く情報が取得できるような仕組みを構築していただくと非常にありがたいと思います。以上でございます。

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進部 西岡担当部長)

全日本のトラック協会への周知につきましてはお願いしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

もう一点、TDM パートナーにご登録していただきますと、メール等により随時情報を配信してまいります。一般の方への情報発信の仕方も、今後しっかり検討していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(平原会長)

説明内容については皆様からご賛同いただいていると受け止めておりますが、本日は情報提供について各方面からさまざまなご質問をいただきました。基本的にはご協力をいただけるという趣旨のご発言が多かったと認識しております。まだ検討すべき具体的な事項が数多くございますが、本日のご意見も踏まえ、これから事務局において整理をして、適切な情報提供に努めていきたいと考えてございます。ありがとうございました。

(神田氏)

参考までに、少しだけ話をさせていただきます。

先ほどご紹介があった4社について、この段階でも既にご協力の形を作って情報提供していただいております、大変素晴らしいことだと思っております。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの際には、特に良かったところを表彰したりしてございましたが、このような協力を企業様にお願いする際には、BCPという観点もございます。災害が発生した場合に、どういうふうにして自社の事業を継続できるかを考える訓練にもなるというような観点でご協力をいただいていた企業さんもありました。

しかし、見方を変えればこのような交通面の観点から大変負荷がかかるという状況の中で、自社の事業をどういうふうに継続するかを考える訓練にもなりますので、ぜひそのような観点も取り入れていただければと思っております。

現在、協力したいという企業の声が上がっているということですので、特にTDMに協力している企業であるということが分かるような表示や、場合によってはサイン等も活用して、協力していることに誇りを持って前向きに参加いただくことを考えていただければと思います。以上が1点目です。

それからトライアルについて、今後さまざまな議論をする中で話していきたいと思いますが、トライアル自体は非常に素晴らしいと思いますが、実は東京オリンピック・パラリンピックの際には、TDMは本番ほどトライアルには効果が現れませんでした。チャレンジウィークとして実施していましたが、訓練という認識もあり協力が十分に得られず、思ったほど交通量が減らない。これはやむを得ないと思いますが、実施するということは非常に価値があるので、トライアルは何を見るのかということを経り込んで、単に数字があまり落ちない等ではなく、本番では協力してくれますのでその際に何を見るのかという点を絞り込んでトライアルを実施する、ということをもう1回考えていただければと思います。

3点目として、公共団体の皆様に特にお願いがございます。

期間中の工事、特に道路工事をできるだけ交通のピーク時を避けていただけるような差配を今からしていただければ大変ありがたいと思います。国においては対応していただけるとは思いますが、公共団体の皆様にもお願いしたいと考えております。道路法第24条に基づく工事など、道路の管理者以外が工事を実施するという時も、交通のピークに重なるところは避けていただくよう、ぜひ現場においてご指導をしていただければと思います。引き続きご協力のほどお願いいたします。以上でございます。

(平原会長)

ありがとうございました。様々な経験から貴重なご意見をいただきました。

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局 GREEN×EXPO推進部 西岡担当部長)

今後、インセンティブにつきましては、現在チラシには3つしか書いてございませんが、充実していきたいと思っております。例えば、TDMに協力していただいている企業であることを示すロゴマークの作成や、名刺への掲載、ステッカーの配布等も含めて、今後協議・

作成していきながら、企業の皆様に TDM へ積極的に取り組んでいただけるように努めてまいりたいと思っております。

ご意見ありがとうございます。

(藤田委員)

今回、さまざまな取組についてご紹介いただきありがとうございました。

「隗（かい）より始めよ」ということが大事なと思っております。この TDM パートナー登録制度に関して、関東運輸局としても業界団体の皆様にしっかりと周知していきたいと考えております。

また全国ももちろんですが、まずは神奈川県の中で皆様と一緒に協力してくださる方をいかに増やせるかということが大事かなと思います。そして運輸局は企業パートナーではないかもしれないけれど、事前のトライアルの際に我々としてどう行動するのか、テレワークを中心としてだと思いますが、その点についてもしっかりと今から計画を立てて、率先してやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(平原会長)

よろしいでしょうか。それでは、本日は大変貴重なご意見ありがとうございました。

まだ課題もございますけれども、事務局を中心にご指摘を踏まえて、さらに検討を深めていきたいと思っております。引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、予定していた議題は全て終了しましたので、司会の方にお返ししたいと思います。

(司会 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課 山崎担当課長)

平原会長、ありがとうございました。最後に、中谷会長からご挨拶をお願いいたします。

(中谷会長)

本日は第 2 回目となる交通円滑化推進会議にご出席を賜り、また、忌憚のないご意見をいただきました。誠にありがとうございます。

冒頭で平原会長からもお話がありましたように、GREEN×EXPO の開催まで残すところ 281 日となっております。現在、神奈川県におきましても、首都圏で初めてとなるこの GREEN×EXPO の PR に協会、横浜市とともに懸命に取り組んでおります。この 4 月には県の展示施設を「Vibrant INOCHI Forest かながわ館」と命名して起工式を行い、着々と準備を進めております。神奈川県の地形を模した屋外庭園、そして季節感ある展示を行う予定です。本日も内部で打ち合わせを行いました。来場者がワクワクするような仕掛けを凝らした施設になる予定でございます。多くの方々が訪れ、本県の魅力を感じ、楽しんでいただくことを期待しております。

また、知事自ら広告塔となり、全国各地を訪問しております。すでに北は北海道から南は沖縄まで、直近では滋賀県にも赴き、現地の自治体との交流を図るとともに、現地でのメディア、テレビやラジオ、新聞等を通して PR をしております。

さらに、横浜市とも連携しプレデスティネーションキャンペーンも実施しております。今週火

曜日には全国の旅行会社、そして報道関係者を招き、神奈川・横浜の魅力を発信する全国宣伝促進販売会議を開催いたしました。

ただ、その取組が効果を上げるほど多くの来場者が見込まれることとなり、会場周辺を中心とした交通渋滞が予想されます。

そのため、この GREEN×EXPO の成功に向けては、本会議における交通円滑化を図るための交通需要マネジメントといういわゆる TDM が非常に大事になるわけでございます。

本日はこの会議で TDM にご協力いただける企業を募集するパートナー登録制度や、TDM トライアルの実施が決定するなど、今後の取組内容がいよいよ具体化してまいりました。今後は、まずこのトライアルの実施に向けて幅広い方々に呼びかけ、ご協力をいただくことが不可欠であると考えております。

県といたしましても、博覧会協会及び横浜市とともに、交通円滑化の実現に向けて精一杯取り組んでまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げまして、私のご挨拶をさせていただきます。

本日はありがとうございました。

(司会 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課 山崎担当課長)
中谷会長ありがとうございました。最後に事務局より事務連絡がございます。

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進部 西岡担当部長)
今後も幹事会において詳細な検討を進めていきたいと思っております。

また、先ほどご説明いたしました GREEN×EXPO 2027 TDM パートナー登録制度は明日から登録可能となります。皆様におかれましては、お付き合いのある企業の皆様にぜひ周知していただきますようお願いいたします。

なお、次回の会議につきましては、検討の進捗状況を踏まえ、適宜開催してまいります。事務局からご案内いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。事務連絡は以上です。

(司会 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課 山崎担当課長)
以上をもちまして、第 2 回 GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議を終了いたします。
本日は誠にありがとうございました。

以上